

## 第5回授業テーマ：「あなたも美しい日本語を話す「日本語美人」になろう！」

実施日：令和元年10月19日(土)

実施場所：茨城大学人文社会科学部講義棟10番教室 受講生：109人

講師：岡村 麻未 先生（常磐短期大学他声楽講師）鈴木 範之 先生（常磐短期大学准教授）

### 授業内容等



岡村先生の素敵な歌声で授業が始まりました。透き通る声と言葉を丁寧に伝える大切さが子どもたちへ伝わっていきます。母音だけで文章や歌詞を読む体験を通して、日本語をきれいに伝える発声の仕方や姿勢について、実感を通しながら学ぶことができました。鈴木先生の素敵な伴奏にのせて、全員で歌った「ビリーブ」。その歌声から、みんなで声を合わせて歌うことの一体感と言葉が人の心を動かす素晴らしさを改めて感じることができました。岡村先生と鈴木先生の子どもたちへの丁寧な関わりで充実した時間が流れ、自然に体を動かしながら歌う子どもの姿と保護者も一緒に口ずさむ姿がそこにはありました。

### 授業風景



### 受講生の感想

- ・日本語を上手に発音できるようになってよかった。
- ・日本語の歌には母音の働きが大切なことを知った。
- ・最初は発音が難しかったけど、最後の歌では上手にできるようになった。・母音と子音は重ねて歌ってみるとなんとなく似ている歌になるのすごくと思った。
- ・母音とか長音とか連母音とかいろんな言葉が知れたので家で使ってみたい。
- ・先生の歌もきれいだったし、新しい友達もでき母音探しも楽しかった。・今まではあまり母音や子音に注目しなかったけれど、今回の授業で母音を上手に使ってきれいによく聞こえる話し方ができるようになり良かった。
- ・母音でビリーブを歌って日本語のことが好きになった。・虹が歌えてよかった。楽しかった。母音をもとに話すとはっきりした言葉が伝わるのが分かった。これからは美しい日本語を話していきたいと思った。母音の「ああ」などは高さを変えることを知った。
- ・母音に子音をくわえ、鼻濁音や長音などに気をつけると分かった。・みんなで歌を母音で歌うのが楽しかった。
- ・毎日使う日本語を「練習をすれば上手に話せる」と知ってびっくりした。普段日本語を使っているのに、あまり考えた事はなかったが、連母音のように難しい言葉の意味のように日本語を発音するとうまく言えて良かった。母音を意識したいと思った。母音に注意して話せば、きれいに話せるということが分かった。
- ・母音で「BELIEVE」を歌えて良かった。・きれいな日本語ができるようになってよかった。・こんな風に話すとも良いとは知らなかった。・ゆっくりはきはきということが大切ということを学んだ。
- ・歌が歌えて楽しかった。音の母音を意識した話し方を初めて分かった。